資料４、令和３年度　福祉のまちづくり推進事業について（報告）

１　福祉のまちづくり推進事業

(1)、横浜市福祉のまちづくり推進会議等の開催

横浜市福祉のまちづくり推進会議の開催（１回）

横浜市福祉のまちづくり推進会議専門委員会の開催（２回）、小規模建築物における施設整備基準の検討。

横浜市福祉のまちづくり推進会議小委員会の開催（１回）、令和３年３月に策定した「横浜市福祉のまちづくり推進指針（令和３年度～令和７年度）、通称ふくまちガイド 令和３年度～７年度）」の周知、浸透に向けて意見をお聞きしました。

(2)、条例対象施設についての事前協議・相談等（通年）

横浜市福祉のまちづくり条例の対象となる施設を新設又は改修する際に、安全かつ円滑に利用できるようにするため、事前協議等を実施。

参考　令和３年度協議終了件数　554件

(3)、福祉のまちづくり普及啓発

福祉のまちづくり推進指針の浸透に向けた取組

推進指針ＰＲ動画の作成

ふくまちの「くま」たちが『ふくまちガイド』の概要を紹介した３分間の動画を作成しました。本市Youtubeチャンネル「CityOfYokohama」にて公開しています。

URL

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/fuku-machi/jorei/fukushi-machidukuri/shishinr3.html

ホッチポッチミュージックフェスティバルへの出展

年齢、性別、国籍、障害の有無などに関係なく、みんながごちゃまぜに参加する音楽祭である「ホッチポッチミュージックフェスティバル」にブースを出展しました。

開催日、令和３年10月24日（日）（会場：横浜公園）

出展テーマ、ふくまち大発見！

参加者には会場となった横浜公園で見つけた「ふくまち」を写真に撮ってきてもらい、みんなで「ふくまちマップ」を作成しました。

写真、会場の様子、参加者の写真、ふくまちマップが掲示されている様子、ふくまち大発見！チラシ

新採用職員研修の実施（総務局主催）

横浜市職員として市民と接する上で必要な「福祉の視点」を養うことを目的に実施。

日時、令和３年４月１日（木）

テーマ、インクルーシブなまちづくり

講師、和久井 真糸　氏（福祉のまちづくり推進会議委員）、萩原 昌子（横浜市健康福祉局障害施策推進課）

受講者、新卒、社会人、技能職員採用、約780人

「福祉のまちづくり研修」の実施

横浜市職員及び市内の建築関係者を対象に、福祉のまちづくり条例、同条例施行規則における基本理念の学習とともに、セミナー、車いす体験や白杖を用いたフィールドワークを通して、施設整備基準の根拠を理解し、実際の業務に反映させていくことを目的に実施しました。

開催概要

日時、１日目、令和３年10月18日月曜日９時00分～17時15分

２日目、令和３年11月２日火曜日９時00分～17時15分

会場、横浜市役所１階　横浜市市民協働推進センター　スペースＡ・Ｂ

受講者、合計39名（１日目20名、２日目19名）

受講者内訳　本市職員24名（うち事務３名、建築６名、土木10名、造園３名、機械２名）、鉄道事業者９名、その他市内の建築関係者６名

内容

TOTO株式会社によるトイレセミナー

障害当事者講話（発達障害、視覚障害）

車いす体験、白杖を用いたフィールドワーク

整備事例検討グループワーク

写真、当会場の様子、車いす介助を体験している様子、グループワークの様子

市庁舎におけるエスカレーターの適正利用の周知

全国の鉄道事業者51社局、４団体や空港施設、商業施設、自治体と共同でエスカレーター「歩かず立ち止まろう」キャンペーンに参加し、市庁舎内での適正利用の呼びかけを行いました。

写真、市庁舎３階のデジタルサイネージ、呼びかけの様子

２　高齢者・障害者等に配慮した路線バス整備事業

車いす使用者、高齢者、障害者やベビーカー利用者など誰もが乗降しやすいノンステップバスの導入を促進するため、横浜市内に営業所をもつ民営バス事業者に対し、導入に係る経費の一部を補助しています。

令和３年度補助台数２台、参考、市内バス事業者のバス保有台数とノンステップバス導入率

平成30年度、保有台数1,513台、導入率74.5パーセント

令和元年度、保有台数1,584台、導入率77.6パーセント

令和２年度、保有台数1,578台、導入率79.2パーセント

令和３年度、保有台数1,572台、導入率79.8パーセント

３　鉄道駅舎エレベーター等設置事業

高齢者・障害者を含むすべての人が生活し、活動しやすいまちづくりを推進するため、移動の拠点となる鉄道駅舎において鉄道事業者がエレベーターを設置する際に、経費の一部を補助しています。

令和３年度は新規の補助は行っていません。

参考

横浜市内全駅における段差解消駅

市内全駅、158駅

段差解消駅23年度末～３年度末、152駅、進捗率96.2パーセント

令和４年度予算概要

１、福祉のまちづくり推進事業1,040万円（1,164万円）

福祉のまちづくり推進指針を普及啓発するため、動画等を活用した広報を行います。また、３年度に引き続き条例の基準及び施設整備マニュアルを見直します。

（１）「福祉のまちづくり推進会議」の開催

（２）福祉のまちづくり条例に基づく施策の検討

（３）推進指針の広報等

（４）福祉のまちづくり普及啓発

（５）条例対象施設についての事前協議・相談等

２、ノンステップバス導入促進補助事業1,711万円（2,592万円）

誰もが乗降しやすいノンステップバスの導入を促進するため、導入に係る経費の一部を補助します。（31台）